

令和6年度 吉田南小 校内研究について

1. 研究主題

参画意識をもち、集団のかかわりの中で自己有用感を高め合う児童の育成〈1年次〉
～学級活動・児童会活動の実践を通して～

2. 主題設定の理由

(1) 学校教育目標より

本校の学校教育目標は、「自ら学び 夢に向かって たくましく成長する子どもの育成」である。そして、「自己有用感にあふれ、絆を深めていく子ども」をめざす児童像として掲げている。具体的には、自他を大切に思いやり、励まし合える【助け合う子ども】、考えをもち対話をとおして解決できる【学び続ける子ども】、自ら伸ばし、高めようとする【たくましい子ども】の姿をめざしていく。学級活動や児童会活動を中心に、子ども同士がお互いの頑張りや良さを認め合い、思いを伝え合うことで、支持的集団を形成することができ、めざす児童像に近づけるのではないかと考える。

(2) 児童の実態より

これまで、学級活動(1)の継続的な実践により、計画委員が主体的に話し合いに向けて準備をしたり、話し合いの中で、出された意見を大切にしながら、うまく合意形成を図ったりすることができるようになってきている。また、学級活動(2)や(3)においては、教師主導の指導ではなく、児童の話し合いの場面を取り入れながら、自分のめあてを立てる学習を行ってきた。しかし、中には、自分事として考えることができず、積極的な活動へとつながらない児童の姿がみられる場面もあった。「自分は関係ない」「だれかがやるから任せよう」という思いをもつことで、活動後の達成感も得られにくい。参画意識をもって取り組むことで、「自分は役にたった」「がんばってよかった」という思いをもつことができ、自己有用感にもつながると考える。

昨年度までの校内研究において、児童アンケートを実施している。アンケートの項目「自分にはよいところがある」の結果は、一昨年度より昨年度のポイント(肯定的評価)が、8ポイント下がっている。キャリア教育や学級活動の実践を通して高まってきた力もあるが、自己有用感とのつながりが高いと思われるこの項目の低下は課題として残った。

(3) 学級活動の実践より

本校は、これまで、学級活動(1)の実践を継続する中で、児童の合意形成の力を学級経営や人間関係づくりの基盤に据え、異学年との交流や全校での活動など、様々な集団の中で、その力が発揮できるように取り組みを行ってきた。また、学級の中の自治的な活動が活性化され、様々な集団への広がりが見られる場面もみられた。学級の友達からだけでなく、他学年、教職員、保護者、地域の方など、様々な集団との主体的なかかわりを通して、認められ、感謝される場面を設定することで、一人一人の自己有用感も高めていけるのではないかと考える。

(4) 児童会活動の実践より

全校での活動の制限が解かれ、昨年度末頃より全校集会も復活してきた。今年度は、高学年が中心となって行われる全校集会や、各委員会活動の中で行われる活動を広げ、集団の絆を高めたり、一人一人の自己有用感を高め合ったりする姿をめざしていく。当日の活動のみではなく、事前事後の活動においても、児童の気付きや思いを伝え合う場を設けることで、それぞれの活動が更に充実した活動になると考える。

また、委員会活動では、常時活動としての取組とは別に、児童の創造的な活動にも重点をおいて実践をしていくことで、参画意識をもちながら、主体的な活動へつながることを期待したい。

そこで、今年度は、「参画意識をもち、集団のかかわりの中で自己有用感を高め合う児童の育成」を研究主題に掲げ、学級活動や児童会活動の実践を中心に研究を進めていきたいと考える。

3. 研究目標

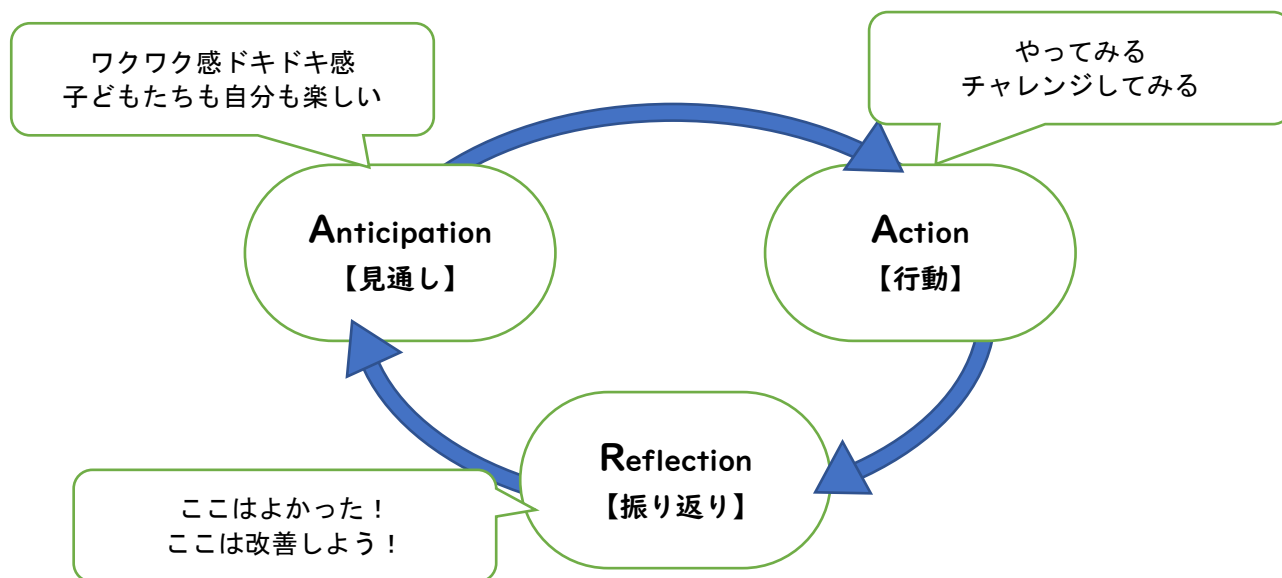
様々な人や集団とのかかわりを意識した学級活動や児童会活動において、参画意識をもち、自己有用感を高め合える実践について、教職員の Anticipation【見通し】、Action【行動】、Reflection【振り返り】を繰り返しながら、めざす児童像の実現をめざす。

4. 研究の方法

☆AAR モデルの実践

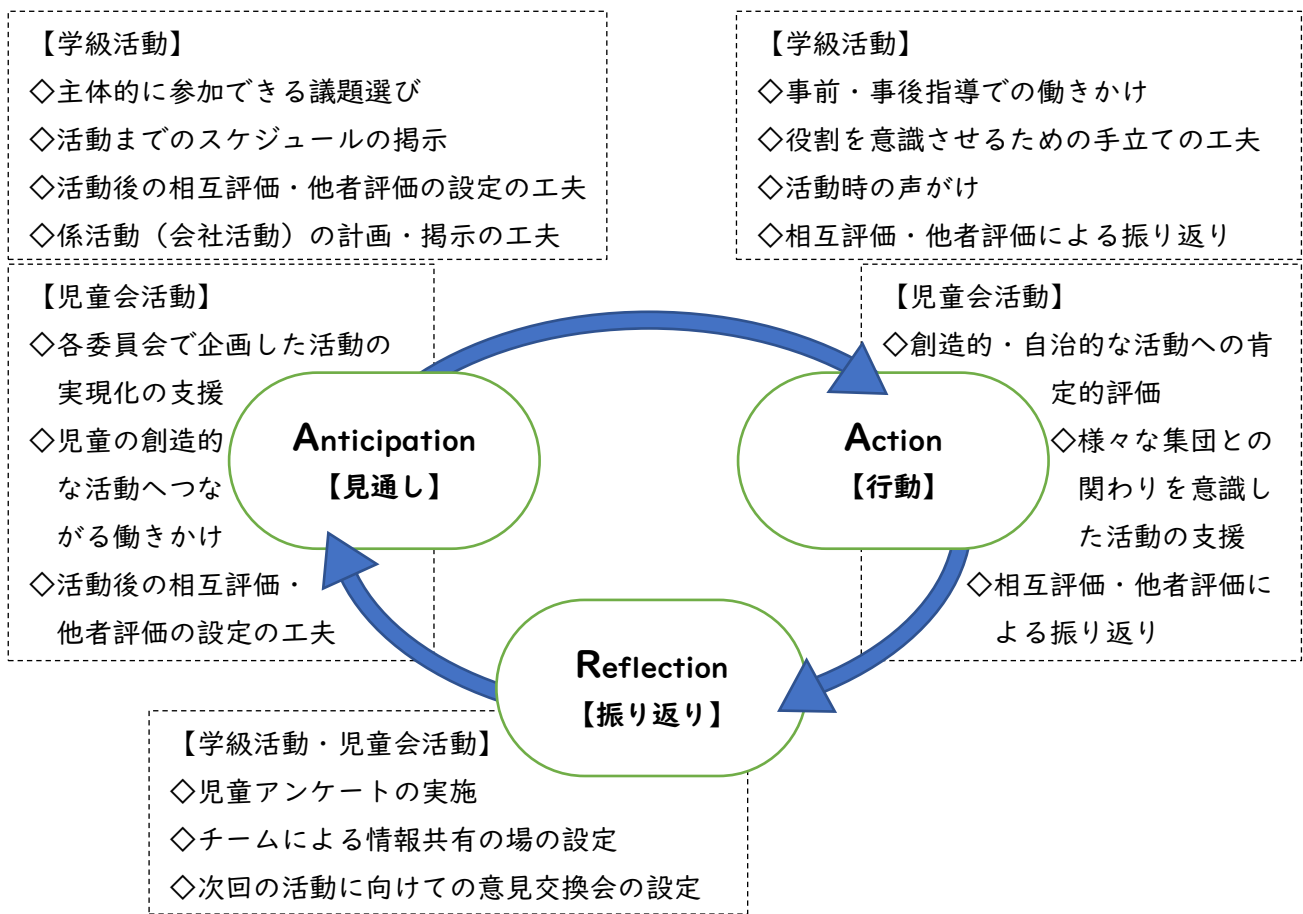
(熊本大学大学院教育学研究科 前田康裕氏

「コンピテンシーを身につけるための学習プロセス」より)



今年度は、新たな研究主題を設定した1年次であるため、教職員の皆様の積極的な「Action」を期待します。学級活動・児童会活動が中心ではありますが、他の教科等でもかまいません。そして、来年度に向けての「Reflection」の機会を設けながら、よりよい実践につながるように計画を立て直す「Anticipation」の1年にしたいと考えています。様々な取組を期待しています。

5. 研究の内容（例）



6. 研究組織

研究推進委員会	校長・教頭・教務主任・研究部	
研究部	○菅田・舟木	*校内研究計画の立案等
チーム学級活動	○舟木・中尾・岡崎あ・伊藤・竹内	*学級活動の授業実践の推進 *研究授業のサポート
チーム児童会活動	○菅田・坂田・川上・瀬戸・今谷・長嶺	*児童会活動の実践の推進 *各活動のサポート
●フォローアップ2年目研サポートチーム	低学年部	*研究授業に向けてのサポート
◆フォローアップ3年目研サポートチーム	高学年部	*研究授業の参観
★6年目研サポートチーム	中学年部	*研究協議への参加

7. 年間予定

期	月	具体的な取組	主な学校行事等
前期	4	○研修講座受講者申請 ○訪問指導申請 ○職員会 ・キャリア教育、キャリア・パスポート ○学級活動に関わる各学級掲示物の計画・準備	・前期始業式 (8) ・入学式 (10) ・全国学力調査 (18) ・家庭訪問 (23~26)
	5	○研究主題、研究計画の作成、検討 ○職員会 ・校内研究について	・1年生を迎える会 (7) ・学習公開日 (10) ・クラブ活動開始 (22) ・児童総会 (28) ・少年自然の家宿泊研修(29・30)
	6	○市教委第1回学校訪問指導【全学級】 ★6年目研課題研究構想発表 ★6年目研授業公開・研究協議【舟木:3年国語】 ○職員会 ・端末活用研修	・市教委学校訪問指導 (7) ・修学旅行 (12・13) ・学習公開日 (21) ・夢の教室 (25)
	7	◎学級活動授業公開①【 : 】 ○児童アンケートの実施①・集計	・市教研統一研修日 (2) ・児童朝会① (9?) ・個人懇談 (23~26)
	8	★6年目研オンデマンド研修発表 ○職員会 ・出前講座	
	9	○職員会 ・情報交換・意見交流会①	・運動会 (21) ・児童朝会② (?)
	10	◆フォローアップ3年目研授業公開・研究協議 【坂田:6年体育】	・学校保健委員会 (3) ・前期終業式 (9)
		◎学級活動授業公開②【 : 】	・後期始業式 (15) ・連合音楽会 (24) ・小体連陸上大会 (31)
	11	○職員会 ・情報交換会・意見交流会②	・児童朝会③ (5) ・学習発表会 (22) ・クラブ終了 (27)
後期	12	●フォローアップ2年目研授業公開・研究協議 【岡崎:2年学級活動(1)】 ★6年目研授業公開・研究協議 } 【舟木:3年国語】 ○市教委第2回学校訪問指導 ○児童アンケートの実施②・集計	・島根県学力調査 (3) ・個人懇談 (9~13)
	1	◎学級活動授業公開③【菅田:1年学級活動(1)】 ★6年目研成果発表会	・学習公開日(人権・同和教育) (23) ・人権集会 (29)
	2	○職員会 ・情報交換・意見交流会③	・児童総会? (?)
	3	○研究集録作成	・6年生を送る会 (?) ・児童朝会④? (4) ・学習公開日 (4) ・卒業式 (18) ・修了式 (24)

